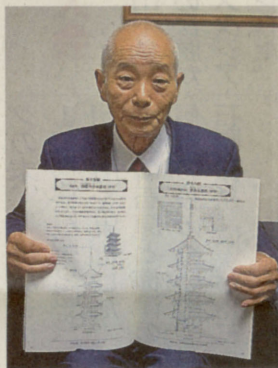


全国の五重塔23基 構造図面描く

大阪府枚方市に住む元宮大工の男性が、全国にある五重塔23基の構造図面を描き上げ、書籍にまとめた。全て細密な手描きにこだわり、東寺(京都市南区)や醍醐寺(伏見区)をはじめ国宝や国重要文化財も多数取り上げている。

大分県出身の吉岡正見さん(79) 写真。幼い頃から絵を描くのが好きで、父親の戦死後、15歳で宮大工になった。全国の社寺の建設や修復に携わったが、作業中に左手首のけがが原因で引退。長年の経験を生かし、全国の図書館や行政の担当部署から塔の資料を取り寄せ、2009年から構造図面を描き始めた。

刊行した「全国五重塔年代順図書全集」は、青森県弘前市から山口市まで全国の塔を収録した。細

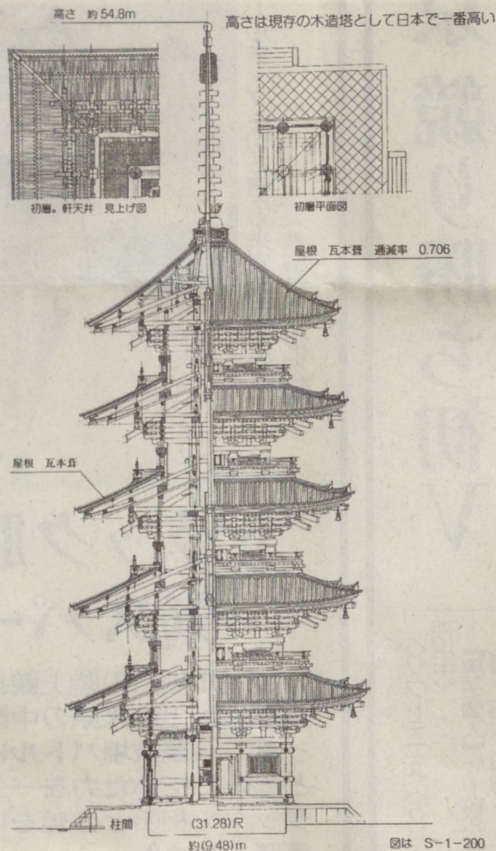


全て細密な手描き

このほど「ふるさと自費出版大賞」の特別賞に選ばれた吉岡さんは、「他の人にはまねできない技術。後世に残したい」と胸を張る。「次は奈良の大仏殿の構造図面に挑戦したい」と目標を掲げた。

B4判63^分、500部作成。5400円。郵送で取り寄せる場合は送料450円が必要。京都新聞出版センター1075(241)6192。京都府立京都学・歴史館(左京区)にも収蔵されている。

(今野麦)



東寺五重塔の構造図面。宮大工の経験から木材の組み方を細密に示す